

全国植樹祭レガシーを活用した地域活性化に関する提案書

平成30年12月 尾張旭市

〇はじめに

愛知県森林公園は、本市の市域の6分の1を占める広大な敷地を有し、市民の憩いの場として、年間100万人以上が訪れる市内最大の観光スポットとして、本市にとって欠くことのできない、非常に重要な場所です。第70回全国植樹祭を契機として、森林公園の認知度が高まり、より身近な場所として、市の賑わいの拠点となること、引いては地域活性化につながるよう、関係機関と連携して盛り上げたいと考えます。

愛知県森林公園に関する「新たな魅力の創出」に向け、各課等で現在実施している事業を森林公園で実施する提案や、森林公園を活用した新たな事業案を提案させていただきます。

〇取りまとめの経緯

庁内に照会を行い、各課等からは、各課等で取り組むことができる、又は検討可能な提案について「森林公園の新たな魅力の創出に関する提案」を、職員個人からは、「森林公園の活性化に関するアイデア」を募集しました。

その提案及びアイデアの中から精査・検討を行い、提案書としてまとめました。

〇構成

第70回全国植樹祭を契機とし、森林公園をレガシーとして地域活性化につなげることができる取組みとして、提示のあった「森林保全への関心や理解の向上」、「県産木材利用の促進」、「身近なレクリエーションの場の提供」、「緑化の推進」の項目に分類しています。また、どの項目に分類することもできないが、地域活性化につながると考えられるものを、「その他」として記載しています。

最後に、参考資料として、提案のあった全ての取組みの一覧を添付しています。

〇提案内容

1 森林保全への関心や理解の向上

このテーマに分類されるものは、既存の森林公園の魅力をより伝わりやすいように、イベントを実施したり体験したりする提案が多く集まりました。森林保全への関心や理解の向上を目指す市の既存のイベントを森林公園を活用して行う案では、相乗効果が期待されます。県と市が連携し、終了後も植樹祭の記念行事を行うことで、継続して理解の向上に寄与できると考えられます。また、近年流行しているSNS等を用いて外向けに発信すべきといった提案もありました。

今回集まった提案の一部
<p><各課等から募集した提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湿地観察会コラボイベント ・ 植樹・育樹会 ・ 植樹祭施設及び森林公園植物園等の見学会 ・ 広芝生を活用した「全国植樹祭開催後〇周年イベント」、広芝生で記念行事 など <p><職員個人から募集した提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林間学校を実施できるように整備、キャンプ体験 ・ 「木育」に着目した、児童遊戯施設 ・ お土産品をつくる ・ 森林公園を題材にしたYOUTUBEのシリーズ化、LINE、インスタ活用 ・ 小学校の授業などで植樹祭開催地であったことを学ぶ場を設ける など

2 県産木材利用の促進

このテーマで分類されるもののほとんどが施設整備でした。中でも遊具の整備やサイクリングロードの整備など、より木材に触れ合えるものが望まれているようです。また、木製品のお土産や記念品を配布したり加工したりすることで、木材を認知してもらう提案もありました。整備した木材施設や製作体験など木材そのものを活用したイベントを行うことでも、植樹祭開催地であることを生かし、木材の認知を高めるきっかけとなります。

今回集まった提案の一部
<p><各課等から募集した提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木材の工芸品等の販売 ・ ミニチュア展示及び組立講習会・体験 <p><職員個人から募集した提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンボルとなる（木製）大型遊具の設置 ・ 森林公園の木材を使った屋外コース ・ 森林公園の木材を使ったドッグランの設置 ・ 工作ができるような体験施設を県産木材で建設 ・ 森林公園の木材を使った体験イベントの実施 など

3 緑化の推進

森林公園植物の生育に森林公園内等が出た生ごみを堆肥化させたものを役立てる提案がありました。

また、森林公園は多種多様な生物が生息しているが、これといった特徴がないという意見がありました。このテーマでは、緑化の推進と公園に特徴を持たせることを目的とする意見が多かったです。その一つに、品種を絞った花畑やフラワーアートで絵を描くといったものがありました。

今回集まった提案

<各課等から募集した提案>

- ・生ごみからできた堆肥を使用した植物の生育

<職員個人から募集した提案>

- ・市の花であるひまわりを活用した「ひまわり畑」の展開
- ・お花畑・イルミネーション、フラワーアートの実施
- ・四季折々の「お花畑」を整備

など

4 身近なレクリエーションの場の提供

このテーマは、今回分類した中で最も多くの提案がありました。

現在も実施しているイベントを森林公園で実施することで、利用者、参加者にとって、相互に、より身近なものとして感じてもらうための提案があります。本市における森林公園の立地や市営バスの活用によっても、広く賑わいの創出が期待できます。

森林公園は無料で開放されている一般公園やテニスコートをはじめとするスポーツ施設を、子供連れの家族を中心に現在も多くの方に利用されています。そういった方を対象に公園利用の選択肢を広げるような整備を実施すべきといった提案が多くありました。施設の整備だけでなく、利用時間の延長や植物園の無料化など、サービスの拡充整備で利用しやすくする提案もあります。また、広大な森林公園の敷地を活かし、フェスや大会の開催を望む声も多くありました。

今回集まった提案の一部

<各課等から募集した提案>

- ・植樹祭施設及び森林公園植物園等のごみ拾い
- ・紅茶グランプリ・紅茶フェスティバル in 森林公園
- ・森のビアガーデン
- ・広芝生にペットボトルを使ったイルミネーション
- ・イノシシ関連イベント

- ・ 森林公園で開催されるイベントと、市営バスあさび一号のコラボ
- ・ 尾張旭市維摩池周辺を含めた一体的な賑わいの拠点の創出

など

〈職員個人から募集した提案〉

- ・ 巨大アスレチックの設置やドッグランの設置
- ・ クライミングウォール、キッズ向けに屋外で3m程度のウォール（木材利用）
- ・ J R Aと連携して、馬術競技会場となる施設（馬事公苑）を設置
- ・ 遠足の誘致（幼小中高）
- ・ 利用時間の延長
- ・ 音楽祭やフェス
- ・ GARDEN TEA PARTY
- ・ 自然を体感できるスポーツイベント
- ・ 植物園の入園を無料

など

5 その他

今回の分類には属さないものがいくつかありました。その中でも多く提案があったのは、森林公園の名称変更やイメージキャラクターを作るといった広報活動の拡充によるイメージアップでした。市の情報発信拠点「尾張旭まち案内」を活用し、森林公園自体を周知する提案や、森林公園開催イベントの配布資料への記載により、植樹祭会場としての周知を図っていく提案もありました。

今回集まった提案

〈各課等から募集した提案〉

- ・ 尾張旭まち案内 森林公園フェアの開催
- ・ まち案内のデジタルサイネージの活用
- ・ イベント参加者への植樹祭開催場所のPR

〈職員個人から募集した提案〉

- ・ 公園の名称変更、植樹祭記念公園などへ名称変更、エリア名を変更
- ・ 大広芝生を「植樹祭記念芝生広場」のように改称
- ・ イメージキャラクターをつくる
- ・ ホームページのイベントカレンダーに載せるなどして、地元の人への周知
- ・ 知名度を上げるための取り組みが必要

など

- 参考資料 一覧表「森林公園の新たな魅力の創出に関する提案（各課等回答）」
「森林公園の活性化に関するアイデア（職員個人回答）」